

## 平成 29 年（2017 年）の乗鞍岳の火山活動

気象庁地震火山部  
火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

## 噴火警報・予報の状況、2017 年の発表履歴

2017 年中変更なし	噴火予報（活火山であることに留意）
-------------	-------------------

## 2017 年の活動概況

## ・噴気などの表面現象の状況（図 1）

乗鞍高原監視カメラ（乗鞍岳の東北東約 7 km）による観測では、山頂部に噴気は認められません。

## ・地震や微動の発生状況（図 2 - 、図 3、表 1）

乗鞍岳付近を震源とする火山性地震は、7 月に一時的に増加しましたが、概ね少ない状態で経過しました。

低周波地震や火山性微動は観測されていません。

## ・地殻変動の状況（図 2 - ~ 、図 4）

GNSS<sup>1)</sup>連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められません。

1) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPS をはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。



図 1 乗鞍岳 山頂部の状況（12 月 10 日、乗鞍高原監視カメラによる）

この資料は気象庁ホームページ（[http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly\\_v-act\\_doc/monthly\\_vact.php](http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php)）でも閲覧することができます。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、京都大学、名古屋大学、東京大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』『数値地図 50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 29 情使、第 798 号）。

【計数基準の変遷】		
初期	2010年12月10日(観測開始)～2011年3月1日	三本滝振幅0.5 $\mu$ m/s以上、S-P2秒以内
変更	2011年3月2日～3月10日	三本滝振幅0.5 $\mu$ m/s以上、S-P1秒以内
変更	2011年3月11日～2013年10月31日	三本滝振幅3.0 $\mu$ m/s以上、S-P1秒以内
変更	2013年11月1日～	三本滝振幅2.0 $\mu$ m/s以上、S-P1秒以内

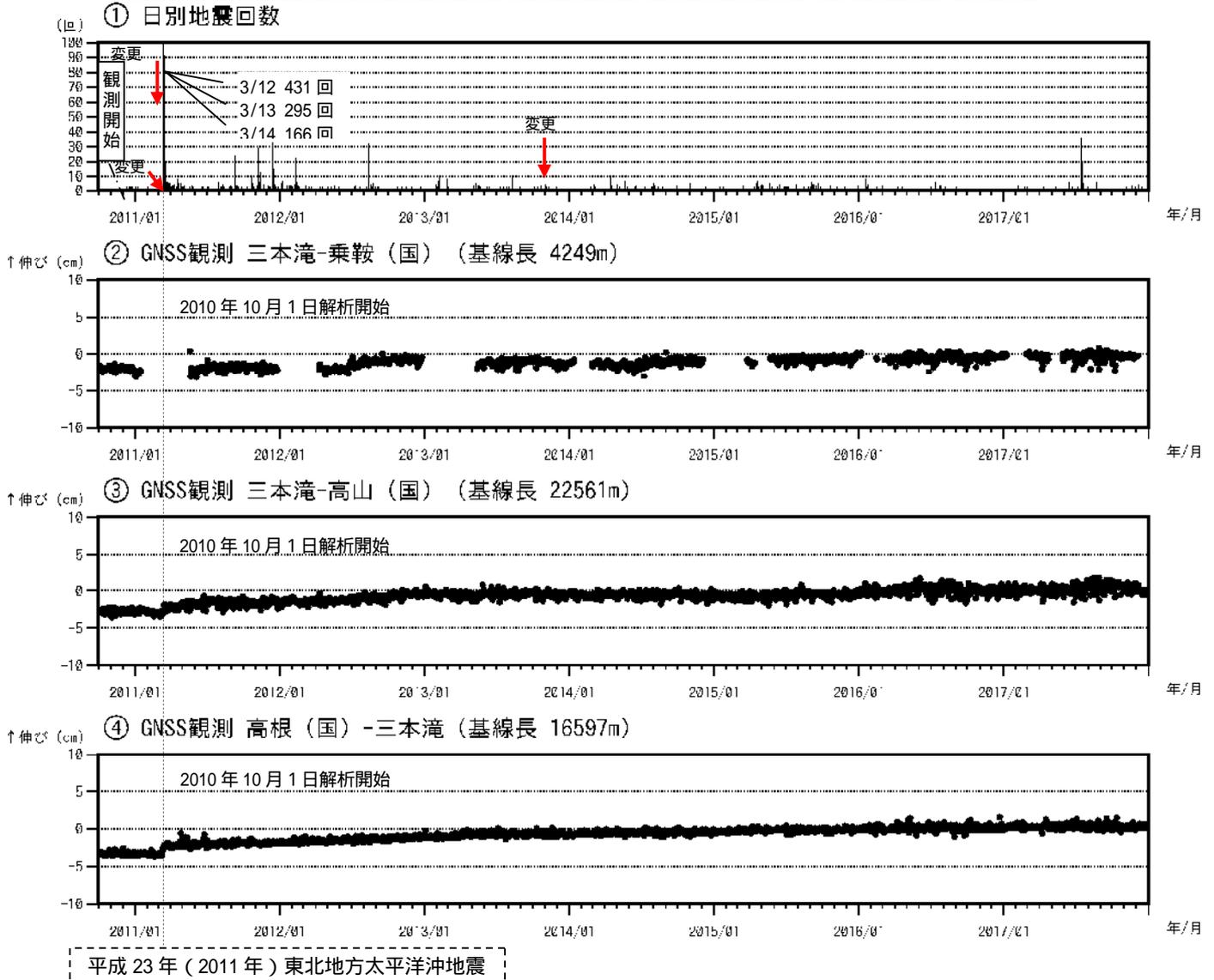


図 2 乗鞍岳 火山活動経過図

乗鞍岳周辺の日別地震回数 (2010年12月10日～2017年12月31日)

～ GNSS連続観測による基線長変化 (2010年10月1日～2017年12月31日) (国): 国土地理院

の基線には、『平成 23 年 (2011 年) 東北地方太平洋沖地震』に伴うステップ状の変化がみられます。

～ は図 4 の GNSS 基線 ～ に対応しています。

のグラフの空白部分は欠測を示しています。

2016年1月以降のデータについては、解析方法を変更しています。

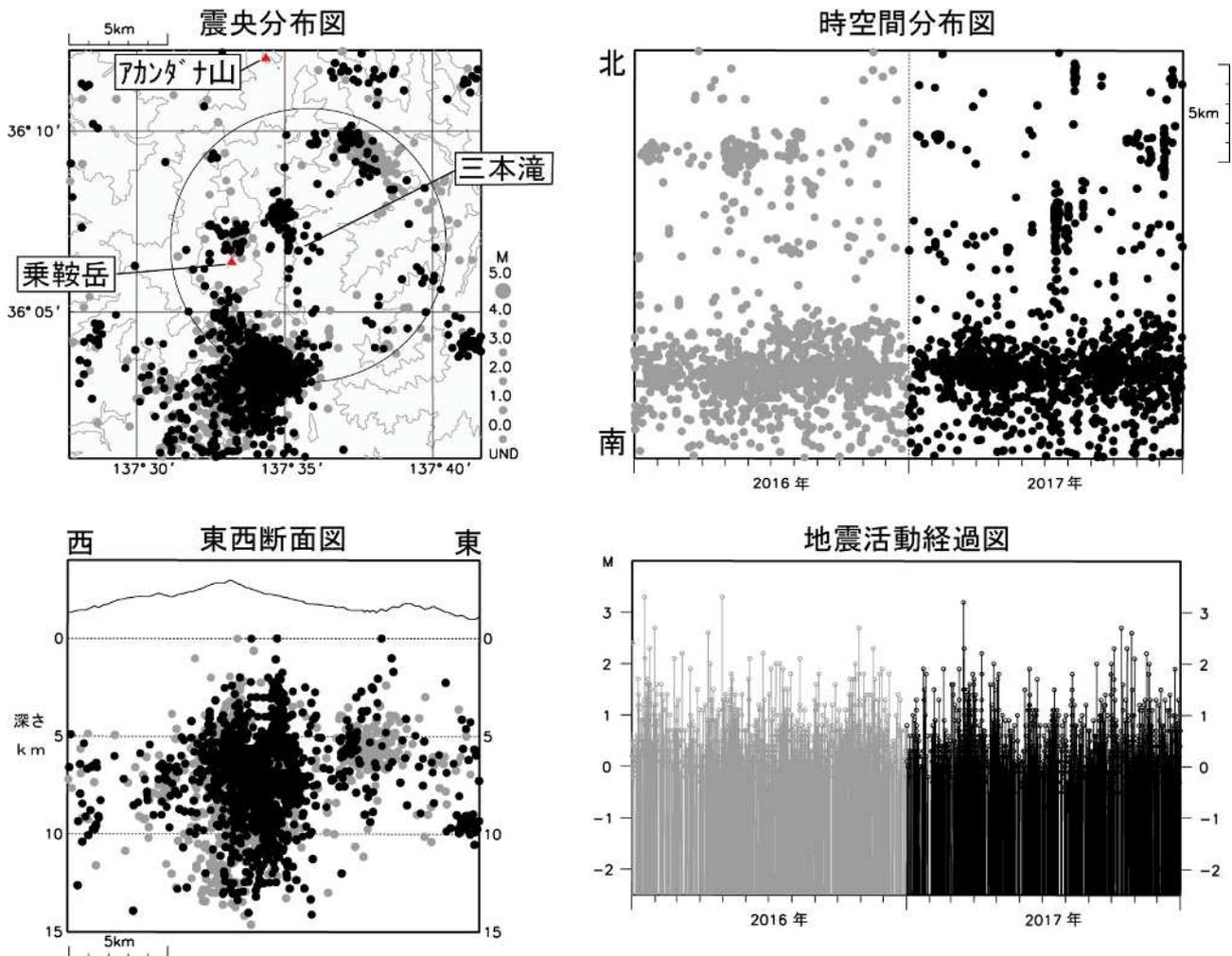


図 3 乗鞍岳 広域地震観測網による山体・周辺の地震活動（2016 年 1 月 1 日～2017 年 12 月 31 日）

：2016 年 1 月 1 日～12 月 31 日      ：2017 年 1 月 1 日～12 月 31 日

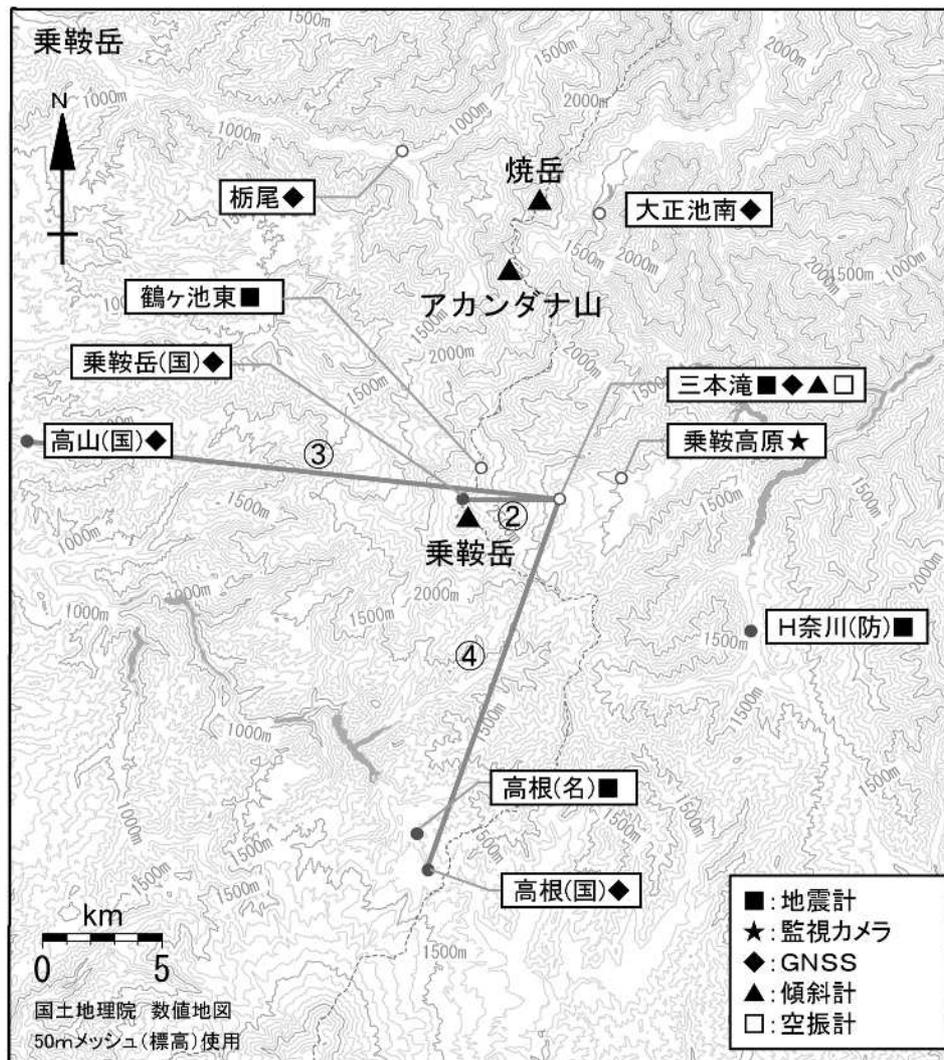
震央分布図中の円は図 2 - の計数対象地震（三本滝で S-P 時間 1 秒以内）のおよその範囲を示しています。  
M（マグニチュード）は地震の規模を表します。

図中の震源要素は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。

表 1 乗鞍岳 2017 年の日別地震回数

計数基準：三本滝観測点上下動振幅 2.0  $\mu\text{m/s}$  以上で S-P 時間 1.0 秒以内

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1日	0	0	0	0	0	0	0	9	0	1	1	0
2日	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	1
3日	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
4日	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
5日	1	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
6日	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	3
7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
8日	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
9日	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
10日	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0
11日	1	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
12日	0	0	1	0	2	0	1	0	0	0	0	0
13日	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	1
14日	0	0	0	0	0	7	36	0	1	0	0	2
15日	1	0	1	0	0	0	13	0	1	0	0	1
16日	0	0	1	0	0	0	12	0	0	0	1	1
17日	0	1	0	0	0	0	19	0	0	0	0	0
18日	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	1	0
19日	1	0	1	1	0	0	5	1	0	0	3	0
20日	0	0	0	0	0	0	3	1	0	1	0	0
21日	0	2	0	0	0	1	0	6	0	0	0	0
22日	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0
23日	0	0	0	0	0	2	0	1	0	1	1	0
24日	0	0	1	1	0	0	0	3	0	0	0	0
25日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26日	1	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
27日	2	0	1	0	0	0	4	0	0	0	0	2
28日	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2
29日	0		0	0	0	0	0	0	0	1	2	0
30日	0		1	0	0	0	1	1	0	0	0	0
31日	0		0		0		2	0		1		1
月合計	8	10	12	5	2	12	108	24	3	8	12	21
年合計	225											



小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。  
 (国) : 国土地理院、(防) : 防災科学技術研究所、(名) : 名古屋大学

図 4 乗鞍岳 観測点配置図

GNSS 基線 ~ は図 2 の ~ に対応しています。

表 2 乗鞍岳 気象庁の観測点一覧

測器種類	地点名	位置			設置高 (m)	観測開始日	備考
		緯度	経度	標高(m)			
地震計	三本滝	36° 6.85′	137° 35.81′	1804	-101	2010.12.10	短周期 3成分
	鶴ヶ池東	36° 7.49′	137° 33.58′	2726	-2	2016.12.1	広帯域 3成分
傾斜計	三本滝	36° 6.9′	137° 35.8′	1804	-101	2011.4.1	
空振計	三本滝	36° 6.9′	137° 35.8′	1804	3	2010.12.10	
GNSS	三本滝	36° 6.9′	137° 35.8′	1804	4	2010.10.1	2周波
	大正池南	36° 13.4′	137° 36.9′	1615	4	2010.10.1	2周波
	栃尾	36° 14.8′	137° 31.4′	807	2	2010.10.1	2周波
監視カメラ	乗鞍高原	36° 7.3′	137° 37.5′	1465	5	2010.4.1	高感度